

揺返した土木部課長異動

丹 波 浪 人

× ×

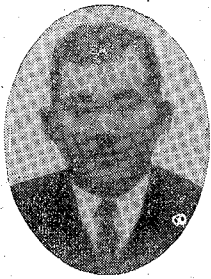
長野縣土木部長の兒玉靜雄君が退官した、或る新聞の如きは彼の退官を誤り傳へてゐる、併し夫れはドーでも可いとして、同君の退官が長野縣土木事業の成績にどれだけの損失であるかを想ふと、同君の部下でない者と雖君の退官を惜まざるを得ない、彼は鹿兒島縣人の通有性を濃度に持つ男である、慷慨悲憤の意氣込と熱情とを以て萬事を解決せむとする、そこに彼を愛し敬慕する者と彼を憎む者との両者が派生し、其の熱度が強ければ強い程兩派が度を濃く

して彼を評價するのである、彼は熊本縣時代に干拓事業を擔任してゐたが、名高い政争の地であるだけに其の事業に政治的意味で難癖を附ける、之を耳にした彼は政府與黨の連中であろうが相手構はずに論争する、此論鋒に見舞はれた者は彼を極度に非難する、此態度を見て其の氣骨に惚れた者は亦無上に彼を愛護する、そのお蔭で岡山に復活したと言はれてゐるのも強ち噂だけでは無からう。

岡山から山形に轉じた彼は、時の長官篠原英太郎と意氣相投合した、内務部長は例の熱情家川村貞四郎であつたか

ら三人相携へて縣政を切りまくつて澤山な土木事業を執行し長官篠原の名を恣にせしめた、青森縣知事で鹹首された川村は、今でも彼を見貴と言つてゐる位に意氣相合つたもので、東北には珍らしいと言はれた村山橋の架設を始めとして山形縣に土木事業の慈雨を降らした感があつた、併し一、二年で彼を普通の課長級にしなかつた篠原や川村は去つてしまふた、そこで反兒玉の氣勢が反動的に湧いて來て、山形縣御用係の聲を立てる者もあつて長野縣へ轉じた。

彼が長野縣へ轉じたとき、筆者は本誌を通して「餘り仕事しない知事の尻を叩いて永年忘れられてゐた道路行政を改革し長野を開發するのが君の使命である」と建言したこ



兒玉君

とがある、彼は赴任早々伊那節や天龍節を修行して民情の研究に没頭してゐたが、吾の組すべき性質の縣民だと悟つたものか、長野

縣では曾つて見たことのない澤山な土木事業を計畫した、

併し長野の財政も餘り豊かではない、矢張り事業を起す爲には公債に依らねばならないのであるが、内藏兩大臣が之を容易に許しそうにもない、此情勢を看取した彼は、知事や内務部長を引きつり廻して起債許可に奔走したものだ、大藏省の承認が濟むまでは主任を監視すると言つて、雜誌講談俱樂部を臨に抱へて大藏省通ひをすると言つた調子で活動した、其の熱心さは何處かの熱血漢の主任官とは趣を異にする、口善惡ない連中は兒玉が知事や部長を傀儡にして仕事をしたと評してゐるが、實際多くの事業を執行し蠶糸界不況の爲に塗炭の苦に喘でゐる多數の縣民を救済したものだ、縣會議長の某が長野縣民の神さまだと賞えてゐるのも、一片の儀禮の言葉ではない。

彼の退官が表沙汰と爲つたとき、土木部の部員の多くは彼に殉死することを決議し長官に申出たと傳へられた、彼が部下を見ること宛然家族のやうであつた其の表はれである、縣民からは彼の執行した事業の功德を禮讚され、部下からは慈父の如き敬慕を受けた、彼が一些事に動搖して

官海を退くことは、假令彼の意地を通すことに於て痛快であるにしても、公人としては考慮を要するところである。然るに多數友人の勸告を斥け野に下つたことは、長野縣民でない筆者も亦惜むのである。併し彼が残した其の事業は永久に彼の長野在官を偲ばせて縣民の同情を維持することであらう、上高地に於けるホテル建設の如きは獨り縣民のみならず彼地に旅する人々は彼の功績を賞えるであらう、今と爲つては是等に心を慰め民間に於て更に一手腕を振ふのも男兒の本懐であらう。

× ×

長崎縣へ轉任を命ぜられた中村孫一君は遂に退官した、群馬と長崎。縣の格式から言へば榮轉なのだから退官するまでに憤慨をする必要もない筈だ、尤も彼は家庭の事情もあつて東京近くに居たかつたのであらう、併し辭職時を越へてまで轉々しなければならぬ官仕のこと、夫れは仕官の當初から判つてゐる筈なのに、夫れを辨へず短氣を出したことは彼の個人生活の爲に惜むべきだ、蓋し彼は大正二

年の東大出であつて是からが眞の活動舞臺に入るべき年輩であるからである。

併し官吏ばかりが何も人の職業ではない、民間に於て與へられた天職に就くのも亦一策である、之を想へば今回の退官を夫れ程に惜む必要はない、併し時を得たら又候官吏に復活する考案の下に一と先退官したものとすれば、筆者は夫れには反對する、蓋し官を私する結果と爲るからである、好漢自愛するが可い。

× ×

兒玉君の後を襲つて長野縣土木部長と爲つた岩崎雄二君實は這般の異動で何處かへ榮轉さるべき資格の持主であつたのだが、岐阜の有力者が争つて彼の留任を所望したので沙汰止みと爲つたと言はれてゐる、夫れの眞疑は別として岐阜では好評を博した、彼は道路の維持修繕に關しては獨特の智識を持つてゐる、で、人と同じ維持費を使ふにしても夫れを人一倍に效果あらしむる、其のことは彼が岐阜に轉じたときの知事伊藤武彦を驚嘆せしめた、高山の道路に

しても君の來任に依つて一新面目を呈したと隨喜の涙を流した代議士もある筈だ、此様に尊重されたことは彼の人格手腕の然らしむるところであらう。



岩崎君

併し行く先、長野は木會

街道で行けば直ぐだが、民

情は岐阜とは随分違つてゐ

る、夫れに全國で指を屈す

る程の大土木事業が計畫さ

れ、火事場のやうな多忙を極めてゐる、夫れには彼の體力を以てしては十分であらうが、長野縣民は思想的に進歩してゐて通り一遍の理屈には決して承服しない、前任者兒玉君が人をチャームしたやうな手腕と度量がなければ統治することの出来ない縣民である、彼に其の持合せがあるならうか、彼は部下に對して威嚴を維持せむと努力する、本省あたりの友人技師から電話で技術上の注意があつても、彼は部下の面前では決して夫れに承服しないと云ふ調子で威嚴？は維持する、従つて友人が人を彼に紹介しても、友人

の氣持を離れて他人行儀に取扱ふ癖がある、夫れは必ずしも悪いことではないが、人間は矢張り感情の動物で、夫等のことに動搖して彼是れ文句を言はるゝものである、長野縣人には随分人を喰つてゐる連中も尠くない、従つて彼所持する所謂威嚴維持の感念も時には人に誤解さるゝかも知らない、用心が肝要であらう。

× ×

滋賀縣土木課長の櫻井哲三君が岐阜へ轉じた、大學を出て民間事業界に這入つた關係もあらうが、大正五年の出であるから當然の榮轉と言つて可い、筆者は彼が香川から滋賀に轉じたとき、彼の美點であり且つ夫れが缺點である、圓滿！遠慮主義を琵琶湖の真中へ放擲して一奮闘をして呉れと願つた、其の勢でもあるまいが滋賀に於ては相當な土木事業を計畫した、彼の京津國道の改良工事でも彼の手に依つて完成され、近くは湖畔道路の計畫が進められてゐる位に路政を進展せしめた、其の效勞が表はれて今回の榮轉にあり附いたとも見られる。

岐阜は隣縣のことだから縣情は時に臭いだこともあらう、餘り難治の縣ではないが、前任者岩崎君が名を恣にした處だけあつて、彼の手腕は直に試験さるゝであらう、圓滿主義を少し引き締めて、岐阜の天地に活動するのも悪くはない、併しながら其の手段方法は曾て岐阜の知事であつた、伊藤現長官に教へて貰つて誤なきを期することが必要だ。

× × ×
新たに滋賀縣土木課長に爲つた埼玉の兵頭直吉君や、長崎縣土木課長に爲つた神奈川の長濱時雄君を、所謂土木主任官としての初歩を踏むのであつて、是からは獨立した責任者である、滋賀と言ひ長崎と言ひ何れも天下を驚かしむるやうな仕事はない、此處で純眞な技術官の立場にあつて非技術的智識の習行に力むるのは、彼等二人をして將來大成せしむることに爲るのであるから、眞面目に勉強することが必要であらう。

米國國務長官ハルは各國孤立の經濟政策は其國を危機に導くもので戦争よりも恐るべきことであるとし國際主義によつて其政策を立つべきであると聲明した而して其具體的政策は（一）關稅障壁を引下げ、外國爲替及通貨の安定貨幣本位の統一の如き手段を講じて世界不況の打破を期すること（二）今日外國の對米債務は二八〇億弗に達し債務國及債務を有する外國人は金錢勞務又は輸出超過により償還する外なき事實及二千の米國工場が數十億弗の資本と共に外國に移轉し米國內に失業を増加する事實又高率關稅及金融並に通商上の障壁が米國內に於ける失業及勞銀の低下を防止するとなす無邪氣なる説を奉ずる者は最も極端なる通商障壁を有する米獨伊の三國が約二千萬の失業者を擁し全米の勞銀生活者は一九二九年を標準とし約四百五十億弗の減收を嘗め居る事實等に徴し適當なる經濟的國際主義を執るの要がある。要するに極端なる孤立政策は戦争よりも世界の破産を來たす恐れ大にして世界平和に對する最大の危険な事であると言やよし、世界經濟會議に於ける代表者の行動や如何。